刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

愛知県スマートシティモデル事業成果報告会

次元を超えたまちデザイン
「メタかりチャレンジ」

令和７年３月２１日

メタかりチャレンジコンソーシアム

目次

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

◆コンソーシアム設立の経緯

◆背景・課題認識

◆実証内容の検討経緯

◆実証実験の内容

◆実証結果

◆成果・課題・今後の展望

◆他市町村へのアドバイス

コンソーシアム設立の経緯

○刈谷スマートシティ研究会（令和3年7月～）

トヨタグループ	㈱アイシン、㈱ジェイテクト、㈱デンソー、トヨタ車体㈱、㈱豊田自動織機、トヨタ紡織㈱
鉄道事業者	東海旅客鉄道㈱、名古屋鉄道㈱
通信事業者	NTTコミュニケーションズ㈱（旧：㈱NTTドコモ）、西日本電信電話㈱
病院	(医)豊田会　刈谷豊田総合病院
行政	愛知県、刈谷市

○刈谷市スマートシティ推進協議会（令和4年10月～）

上記研究会に加え、新たに追加された会員

通信事業者	㈱キャッチネットワーク
エネルギー事業者	東邦ガス㈱、中部電力パワーグリッド㈱
建設事業者	角文㈱
その他	中央コンサルタンツ㈱、刈谷商工会議所、フジ地中情報㈱

コンソーシアム設立の経緯

R5
県モデル事業

NTTコミュニケーションズ(株)
(株)ジェイテクト
「刈谷スマートウェルネスプロジェクト2023」

R6

西日本電信電話(株)
「AIによる危険行為検知＆注意喚起実証プロジェクト」

R4

(株)アイシン
「子どもの車内放置検知システム」

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

R6

トヨタ車体(株)
「キッズガーディアンプロジェクト」

R5

フジ地中情報(株)
「AI劣化診断を活用した漏水調査の効率化プロジェクト」

R6

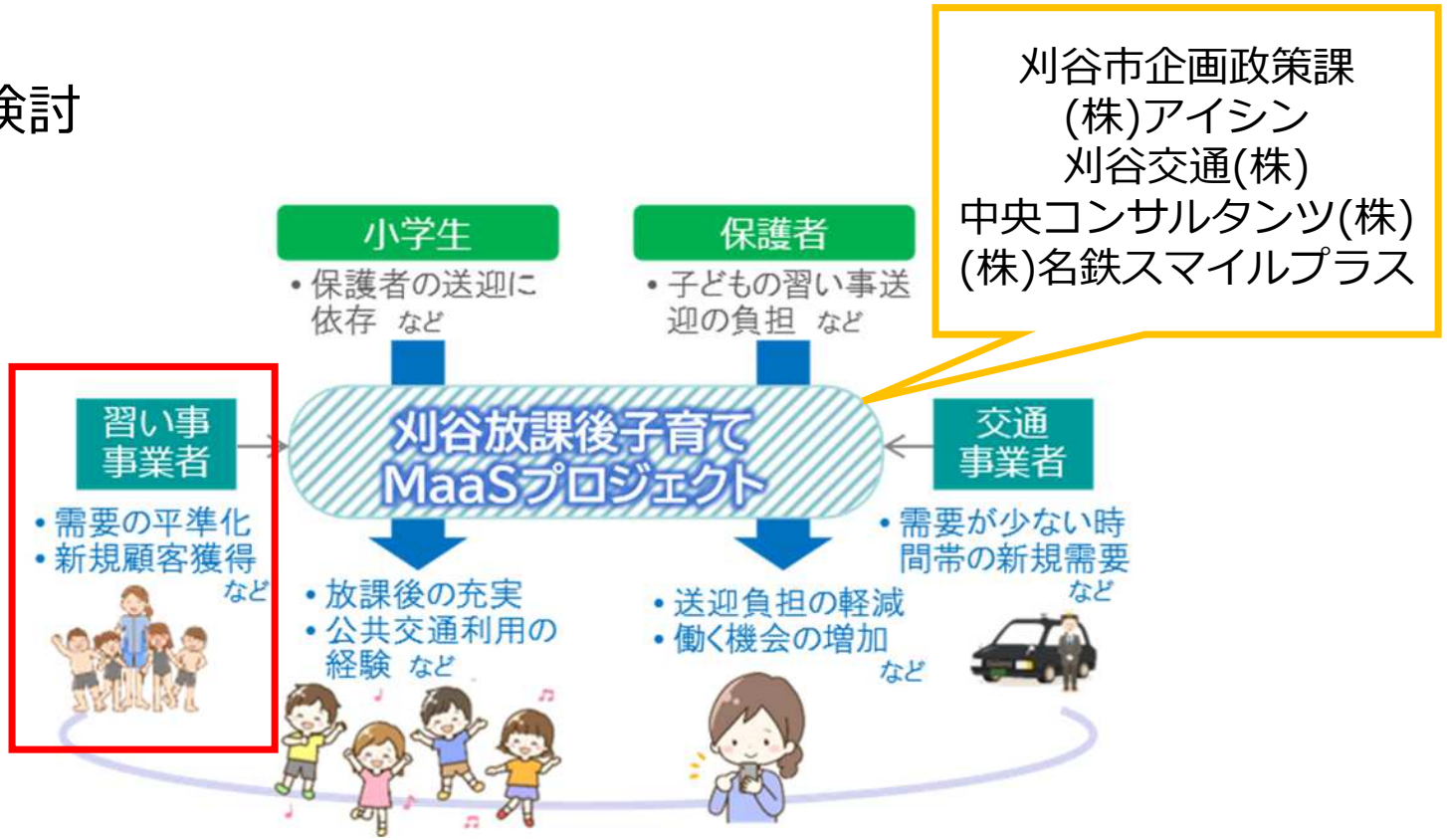
(株)キャッチネットワーク
「「かりまるの運行状況が視える気が利くバス停」プロジェクト」

コンソーシアム設立の経緯

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

◆2023年度
「刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト」　児童対象にメタバース教室を提供

◆2024年度
対象を広げた横展開施策を検討



背景・課題認識

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

KARIYA CITY 2023→2042
FUTURE NAVI
第８次刈谷市総合計画
KARIYA CITY 8TH COMPREHENSIVE PLAN

重点戦略
- 重点戦略1 若い世代や子育て世代への支援
- 重点戦略2 魅力ある働く場の創出
- 重点戦略3 にぎわいの創出
- 重点戦略4 誰もが活躍できる社会の形成
- 重点戦略5 安全に暮らし続けられる環境の整備

視点1 未来技術の活用
視点2 刈谷の魅力発信

ビジネスマンが多い

飲み屋街

刈谷市のにぎわい

新たな「にぎわい」を
獲得したい！！！

実証内容の検討経緯

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

新たなにぎわい獲得には若者世代（＝デジタルネイティブ）への訴求がキー

デジタル施策として仮想空間の活用を検討

若者世代の情報拡散力により“バズる”取組にしたい！

若者世代と一緒に「にぎわう楽しい仮想空間の刈谷市」を創りたい
仮想空間の体験が実際の刈谷市のにぎわいにつながるのか検証したい

事業概要・コンソーシアムメンバー

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

事業概要

◆学生（市内高校生・大学生）／若手社会人向けにワークショップを２回開催

⇒仮想空間内での刈谷市散策を通して、刈谷市のまちづくりに触れてもらう

⇒仮想空間内の刈谷市でやりたいことについて意見交換

◆仮想空間の一般公開を実施

	名称	役割
刈谷市 Kariya City	刈谷市　企画政策課	全体調整 ワークショップ開催
AISIN	株式会社アイシン	仮想空間の開発・提供

実証実験の内容

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

	日程	参加者	参加者数
プレイベント	R6.9.27(金)	若手社会人 (アイシン学園生)	117名
第1回ワークショップ	R6.10.21(月)	市内高校生・大学生・若手社会人	35名
第2回ワークショップ	R6.12.19(木)	市内高校生・若手社会人	22名
一般公開	R7.2.24(月)～R7.3.7(金)	どなたでも可	1174回 ※アクセス数

実証実験の内容
（プレイベント・第１回ワークショップの様子）

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

・仮想空間に慣れながら刈谷駅周辺散策を楽しんでいただいた。

実証実験の内容
（プレイベント・第１回ワークショップの様子）

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

実証実験の内容
（プレイベント・第１回ワークショップの様子）

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

刈谷市のまちづくりについて学ぶ様子

グループワークで仲を深めた

実証実験の内容
（プレイベント・第１回ワークショップの様子）

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

Q.仮想空間の刈谷市でどんなことをしてみたいですか？

買い物をしてみたい

採用
乗車体験をしたい

採用
自由にまちを創りたい

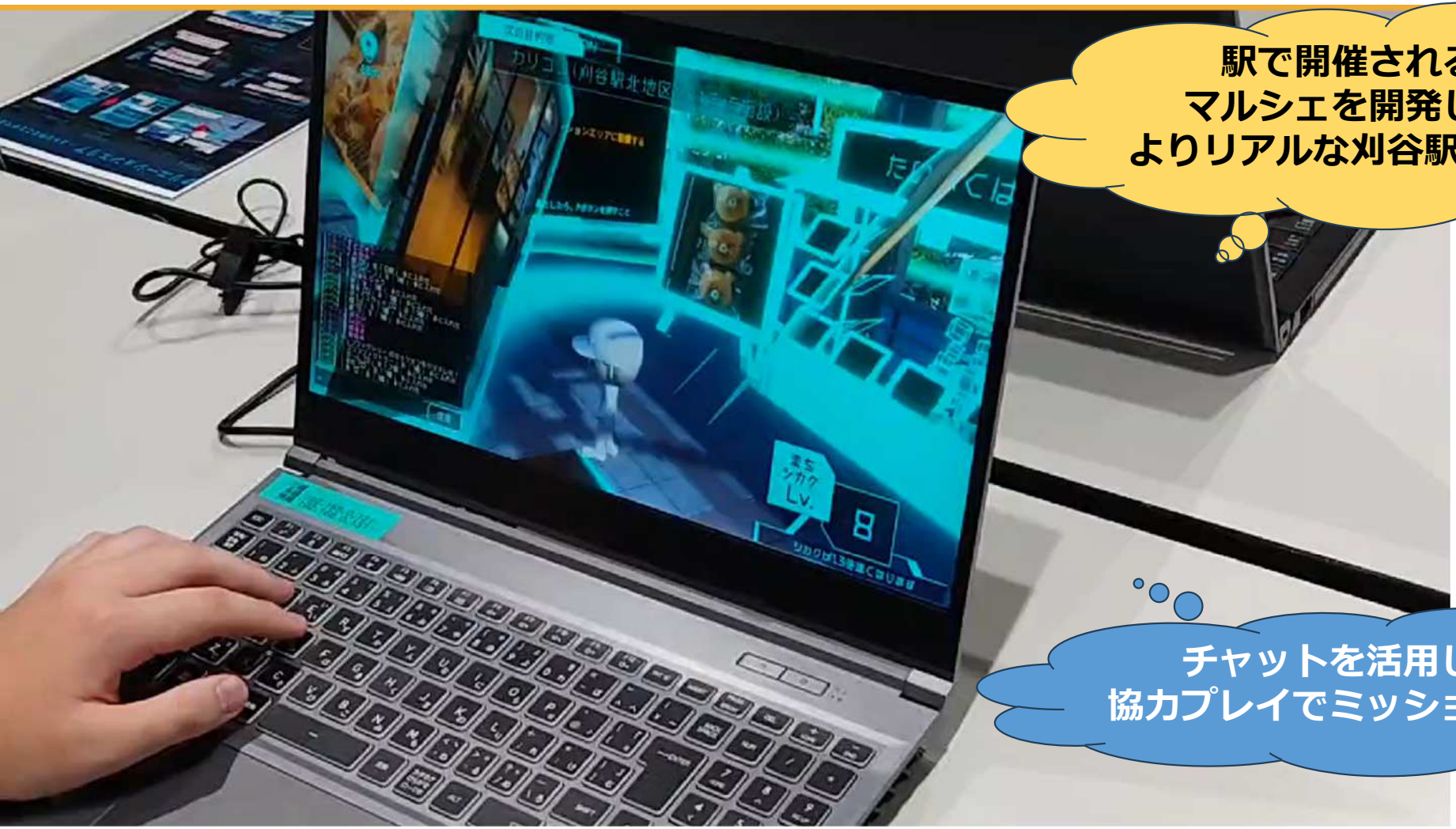
夜間の体験をしたい

チャットで色々な人と
交流したい

採用

実証実験の内容（第2回ワークショップの様子）

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY



駅で開催される
マルシェを開発し、
よりリアルな刈谷駅を再現

チャットを活用して
協力プレイでミッション達成

実証実験の内容（第2回ワークショップの様子）

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

実証実験の内容（第2回ワークショップの様子）

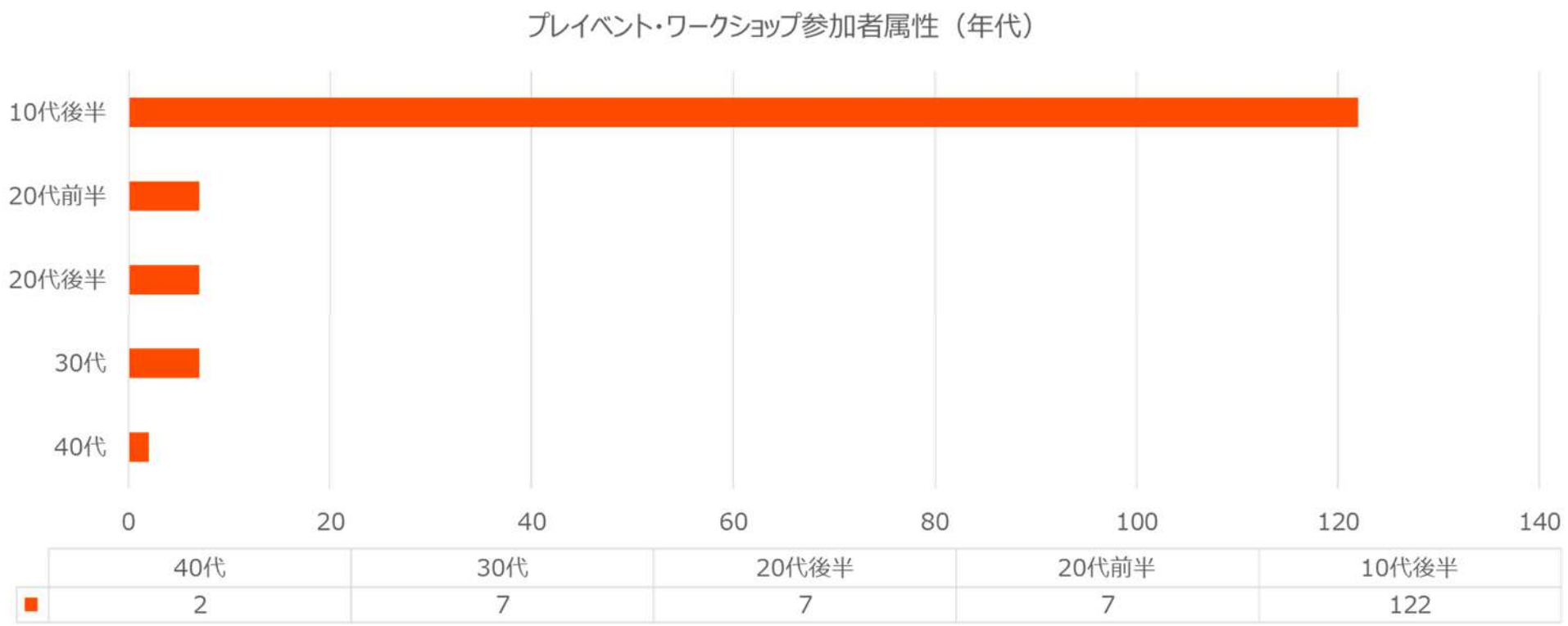
刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

チームで話し合いながら
オリジナルの刈谷市を創りました

緑を増やした

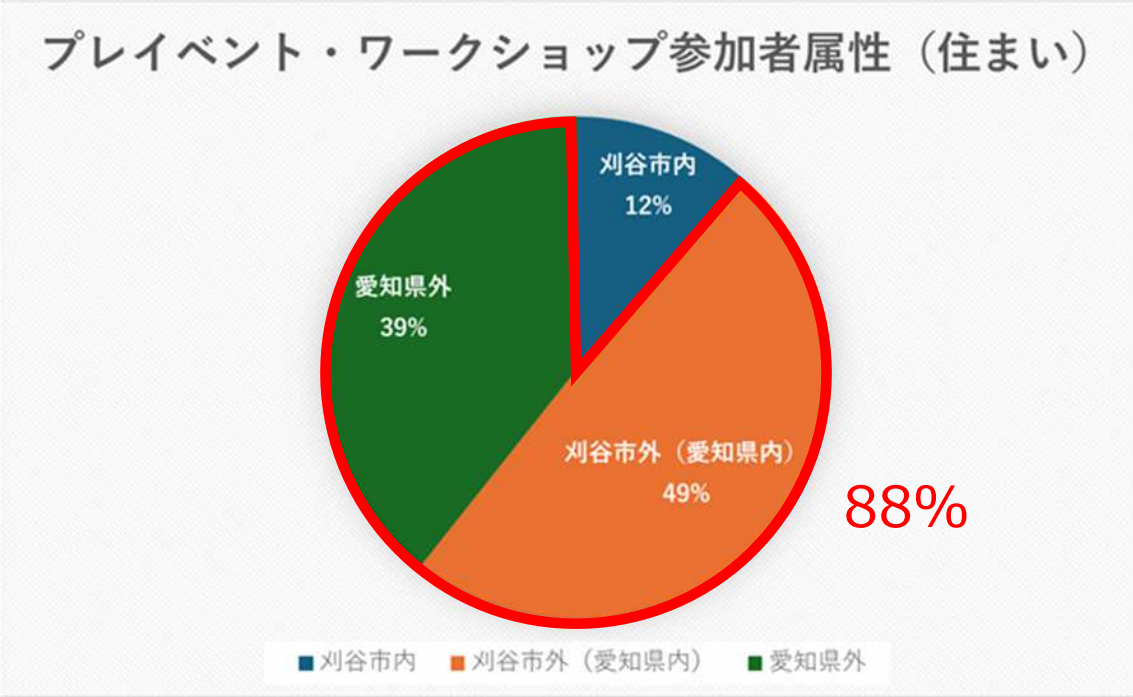
川をメインとする
まちにした

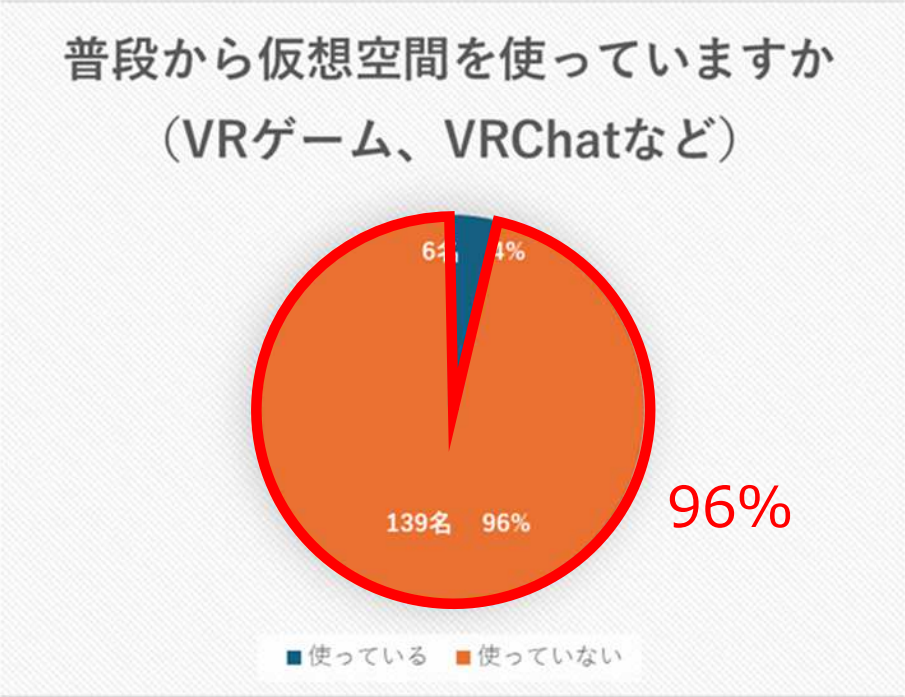
実証結果（参加者属性）



・ターゲット層へのアプローチを適切に実施することができた

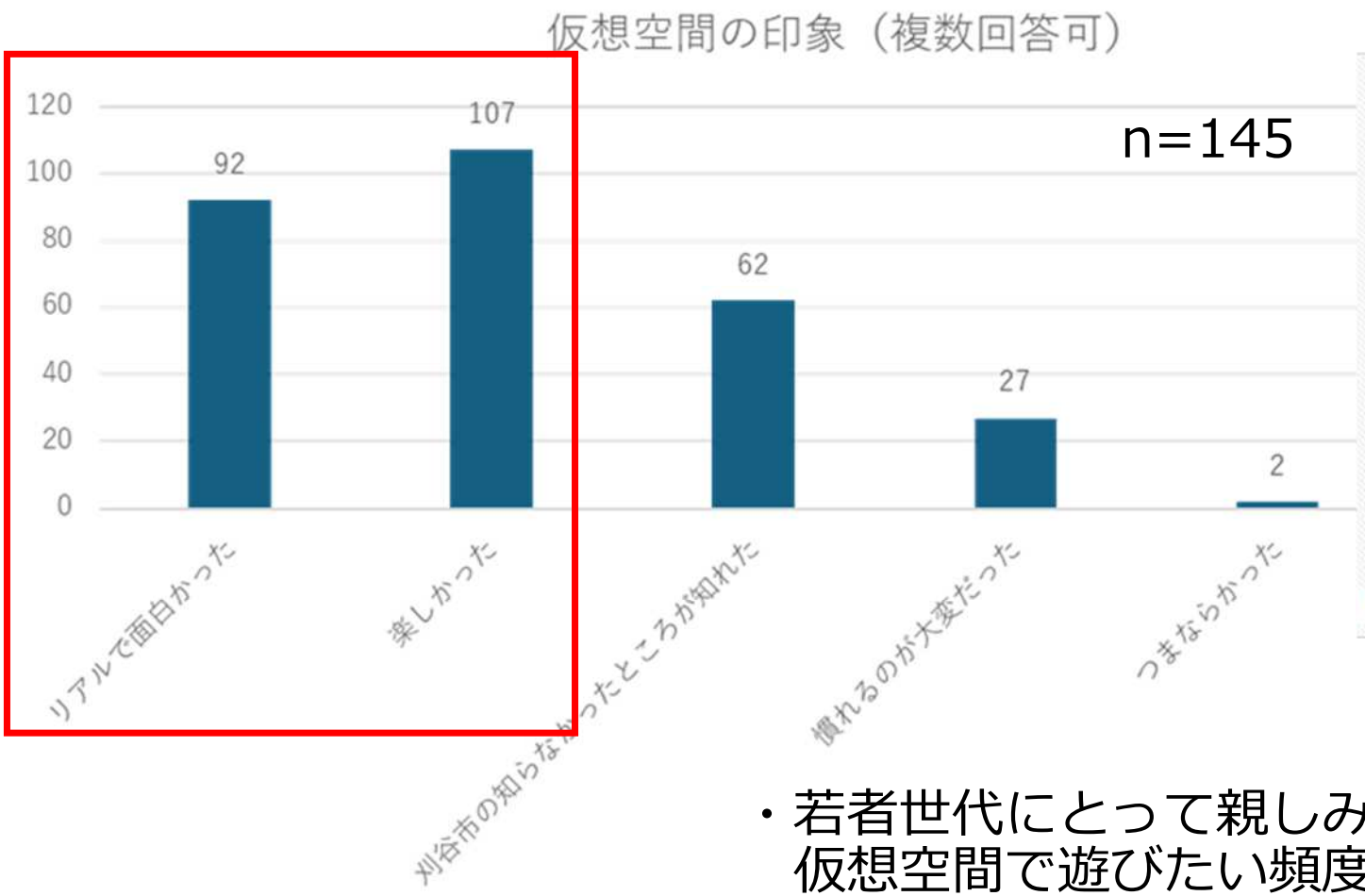
実証結果（参加者属性）

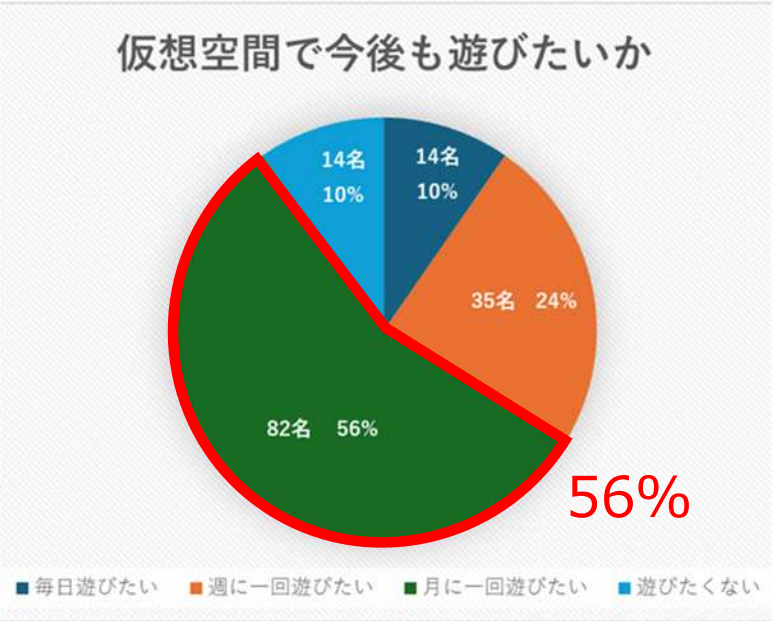




刈谷市外在住の方が9割弱、またほとんどの方が仮想空間初心者であり、
仮想空間を入口に刈谷市を知っていただく良いきっかけづくりとなった。

実証結果（仮想空間の印象）





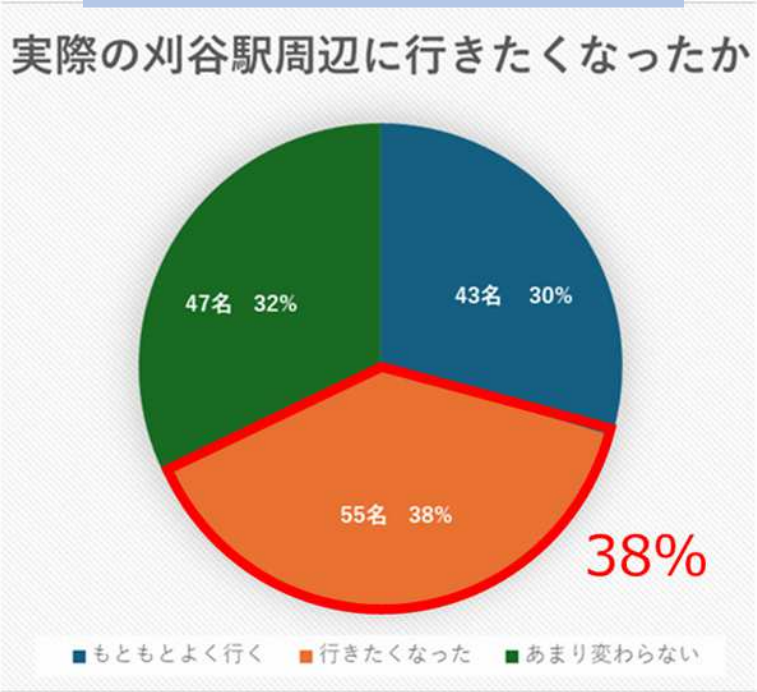
・若者世代にとって親しみやすいツールであるものの、仮想空間で遊びたい頻度は「月に一度」が最多

実証結果（心象変化・行動変容）

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

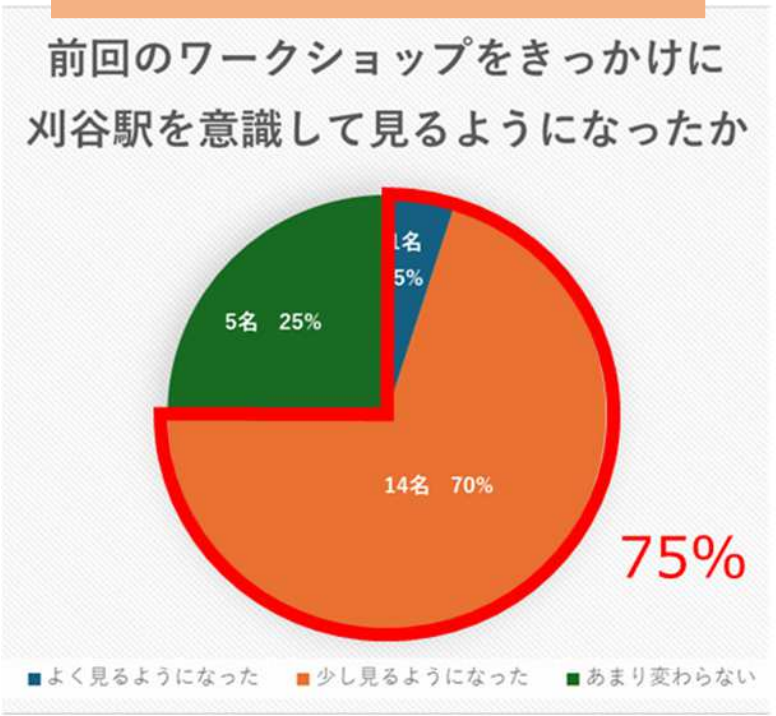
【心象変化】

第1回ワークショップ後



・参加者の38%「行きたくなった」

第2回ワークショップにて



・参加者の75%
「意識して見るようになった」

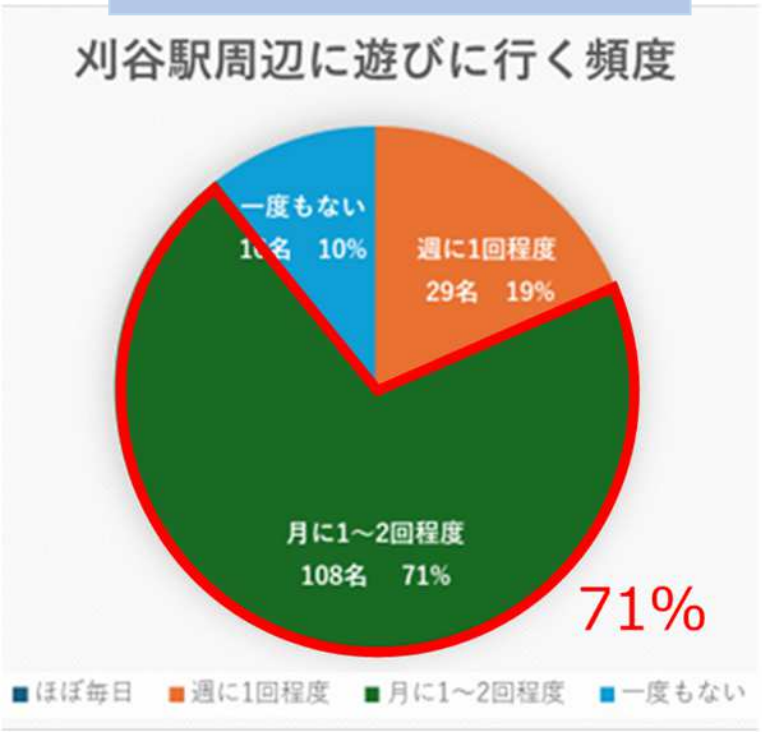
⇒心象変化に一定の効果

実証結果（心象変化・行動変容）

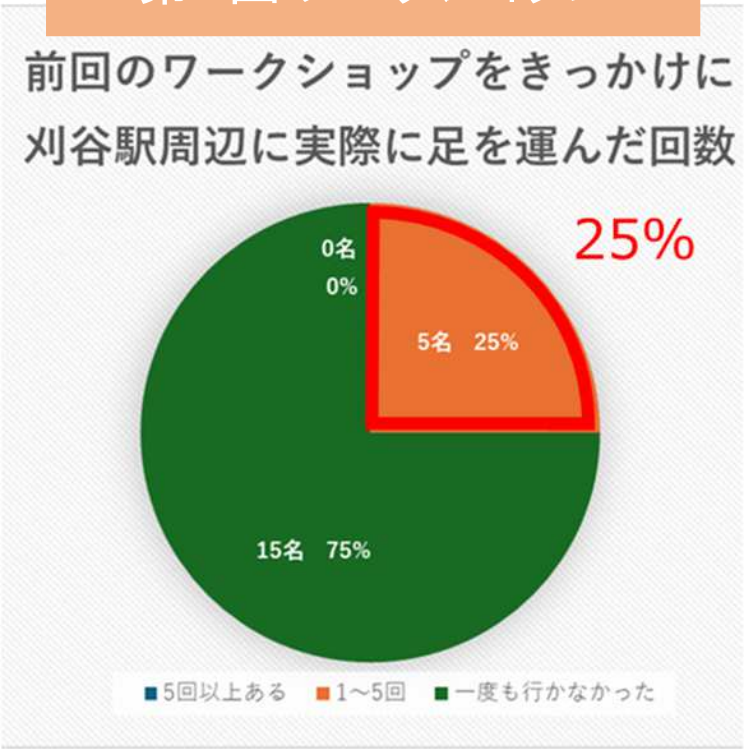
刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

【行動変容】

第1回ワークショップ



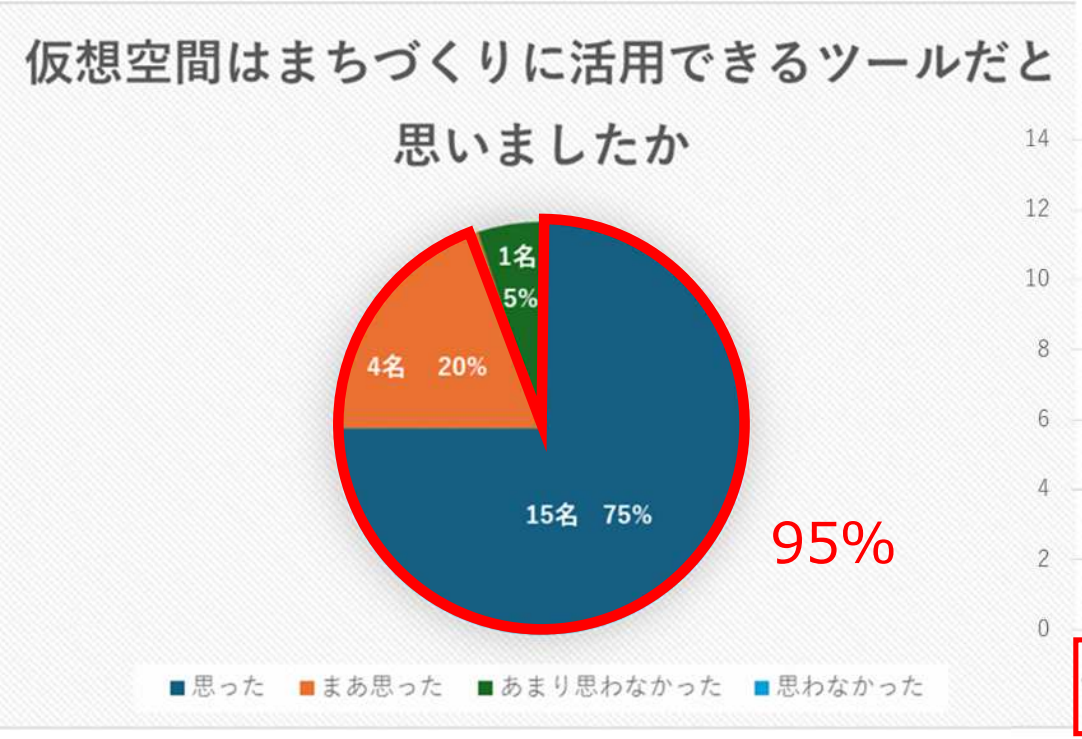
第2回ワークショップ

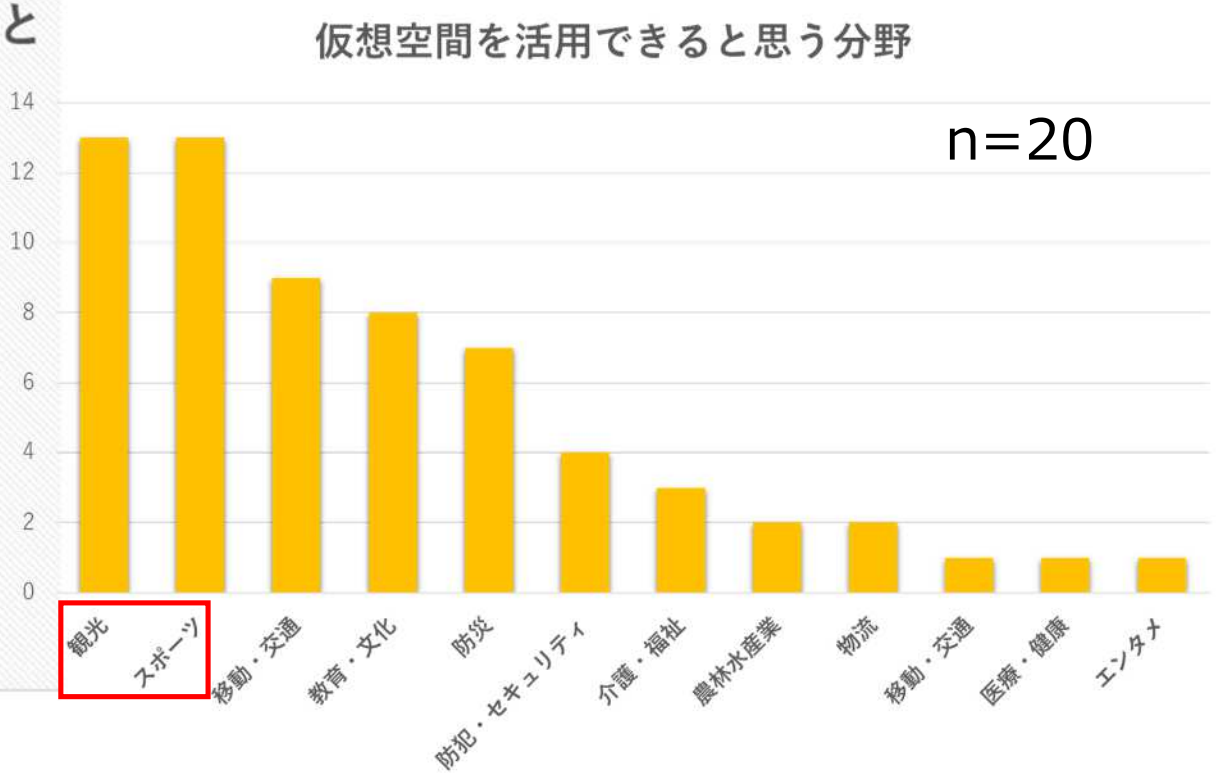


・刈谷駅周辺に遊びに行く頻度　「月に1～2回程度」が7割

・「実際に行った」25%にとどまる⇒<u>より行動変容につながる工夫が必要</u>

実証結果（テーマ設定）





・まちづくりをテーマとする活用有効性を参加者の95%が認めた
・ほか、観光やスポーツ分野など多岐にわたる活用可能性を有することが分かる

実証結果（広報活動）

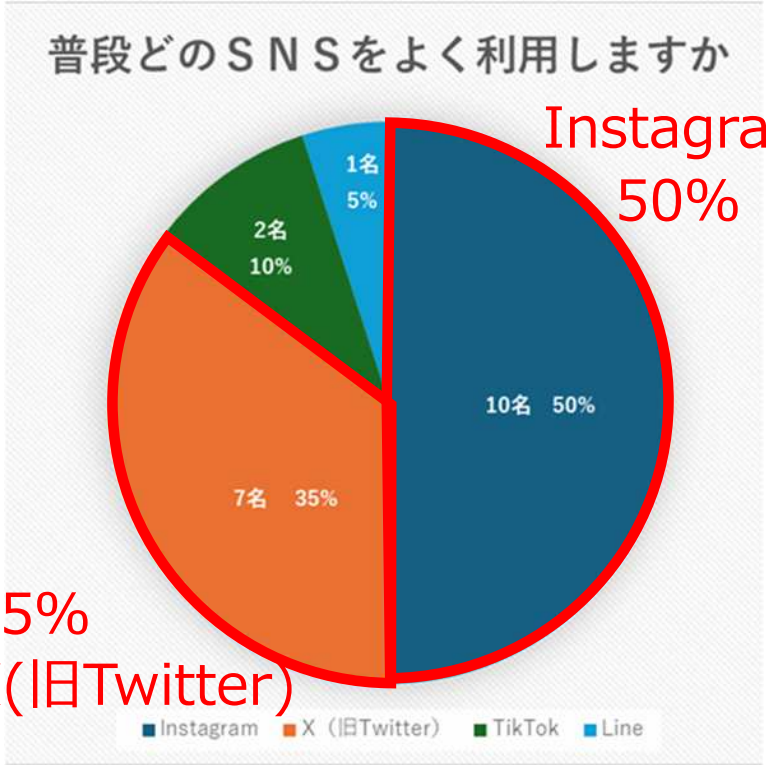
☚各種チラシを作成し広報

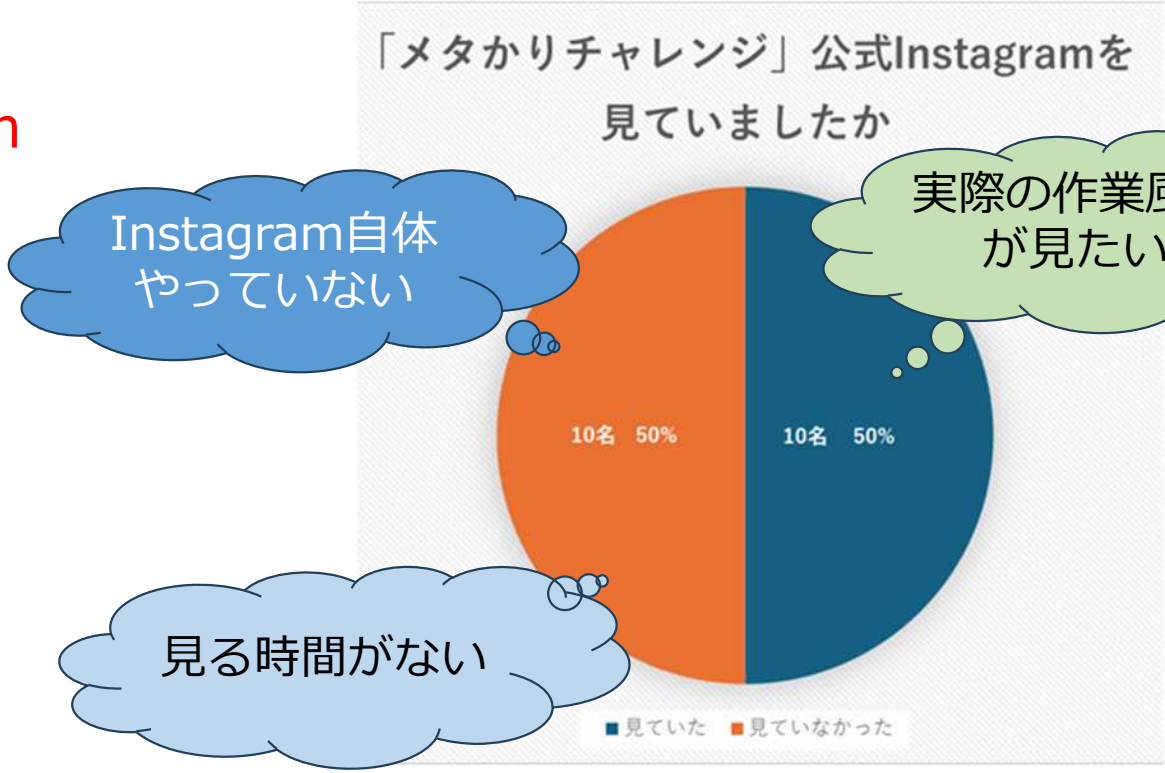
・公式Instagram（メタかりチャレンジアカウント）を開設

・2/27時点でフォロワー数67、投稿総閲覧数3851（投稿数14）

⇒閲覧数は一定数あるものの、フォローにつながらない。
ユーザーが欲しい情報を適切に発信し、認知度を高め、
より多くの方が入りやすい空間にする工夫が必要。

実証結果（広報活動）





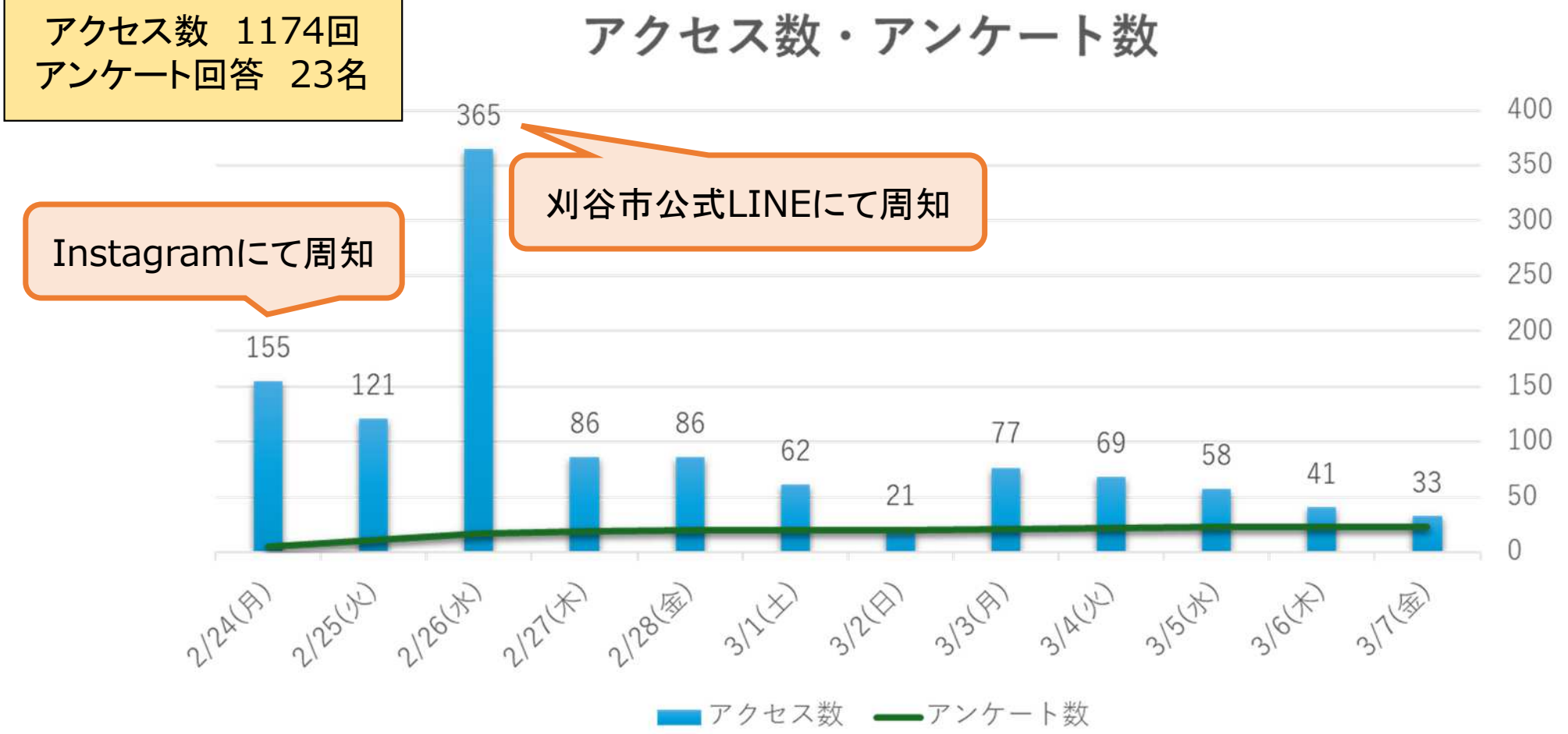
・Instagram以外の媒体（X（旧Twitter）など）の活用

・インフルエンサーなど情報拡散力を持つ媒体の活用　　の検討

実証結果（一般公開）

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

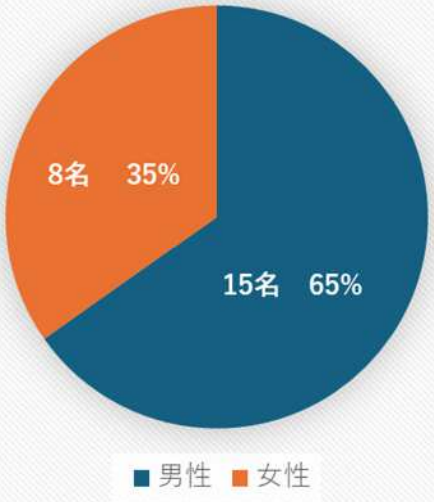
アクセス数　1174回
アンケート回答　23名



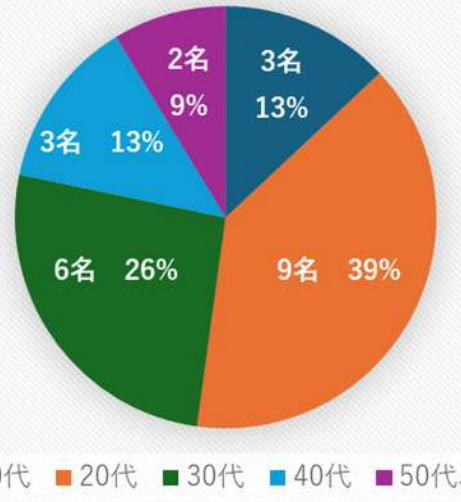
実証結果（一般公開）

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

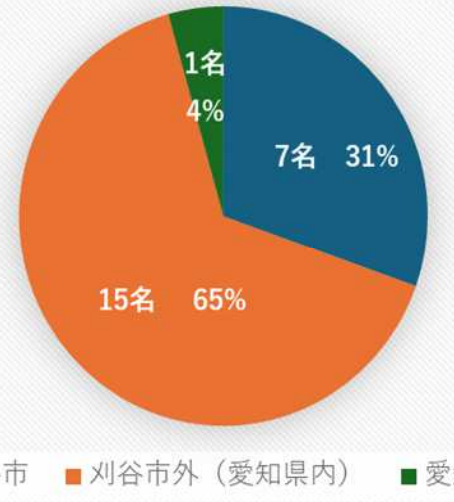
性別



年齢



住まい

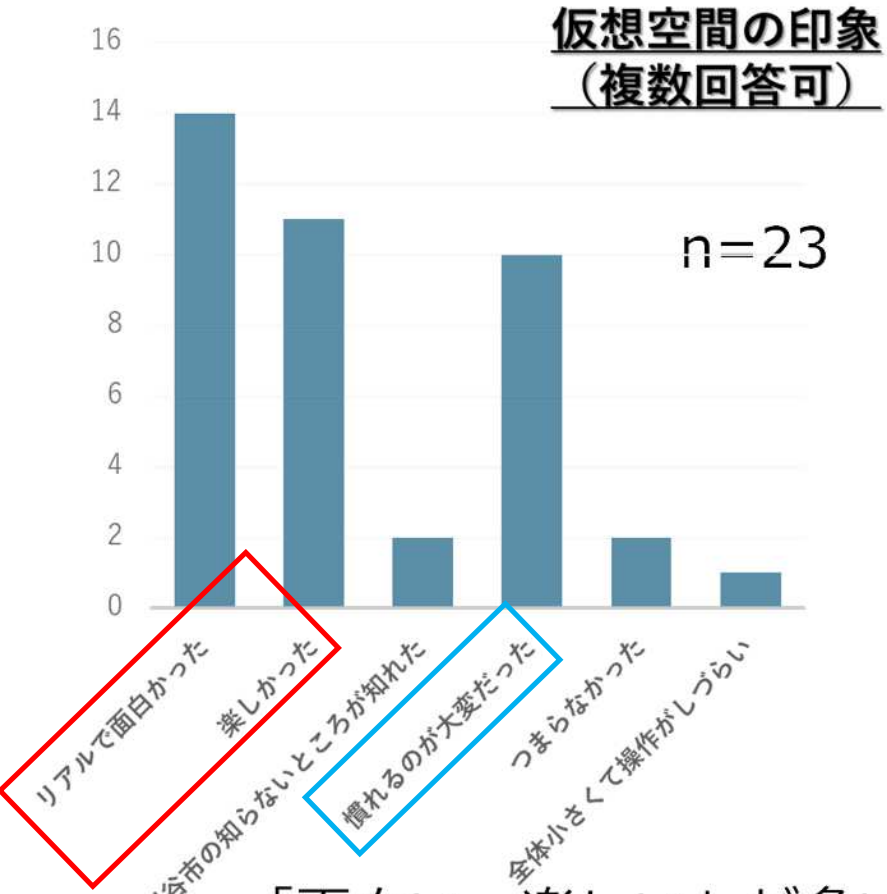


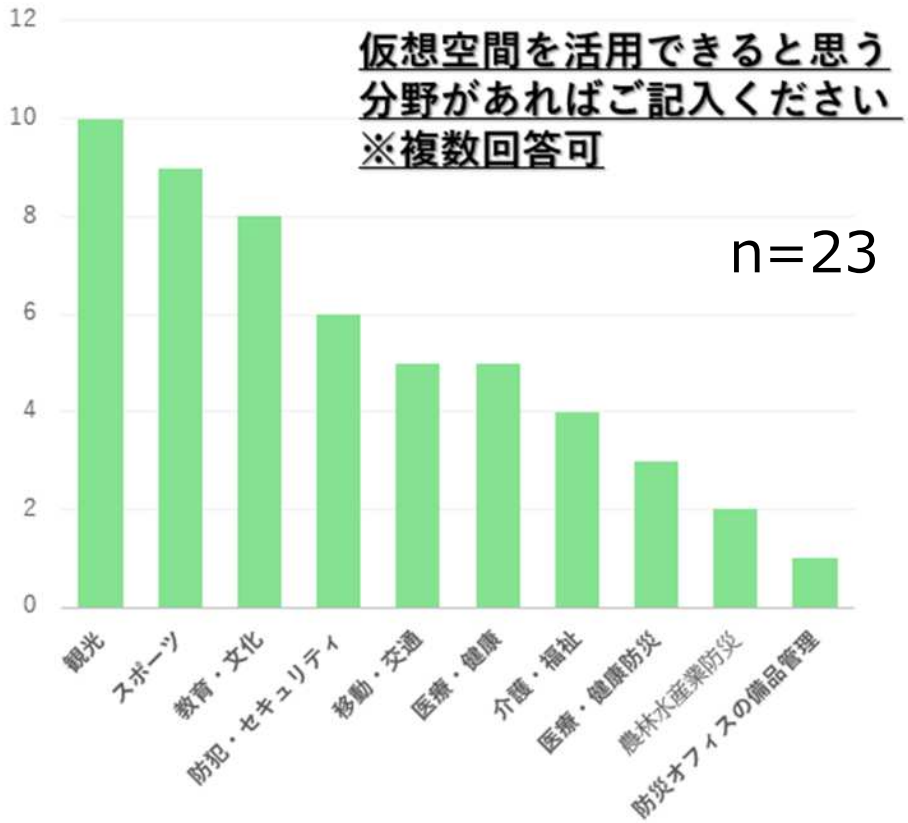
普段から仮想空間を使っていますか（ＶＲゲーム、ＶＲＣｈａｔなど）

※データソースはアンケート回答者23名

- 10代と20代が過半数を占めたものの、幅広い年代に興味を持っていただけた
- 参加者全員が仮想空間未経験者であった

実証結果（一般公開）





・「面白い、楽しい」が多い一方で「慣れるのが大変」との声も同程度あり。
・「観光、スポーツ、教育・文化」分野への活用可能性を持たれた方が多い。

本実証の成果・課題

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

成果

- 仮想空間は若者世代にとって「楽しい」「リアルで面白い」ツール
- 仮想空間の体験を経て、「実際に行きたくなった」38%
  「実際に行った」25%
  ➡ 心象変化・行動変容に一定の効果
- まちづくりをテーマとする活用有効性を参加者の95%が回答
- 実証のプレスリリースが27の媒体に転載 ➡ 取組に対する世間の一定の興味関心

仮想空間は若者世代にとって親しみやすいツールであり、
実際の刈谷市のにぎわいにつながる一定の効果をもたらした

課題

- 仮想空間で遊びたい頻度は「月に一度」が最多 ➡ 利用頻度に対する課題の分析
- Instagramフォロワー数の伸び悩み
  ➡ 認知度を高め、より多くの方に親しんでもらえるような工夫
- 一般公開サイトの操作性

今後の展望

刈谷スマートシティ
KARIYA SMART CITY

広報活動

・Instagram以外の媒体（X（旧Twitter）など）の活用
・インフルエンサーなど情報拡散力を持つ媒体の活用

➡ ユーザーが見たい効果的な情報発信

ターゲット

・若者世代に絞ることなく、仮想空間に興味を持つ全世代に向けて広く発信

テーマ

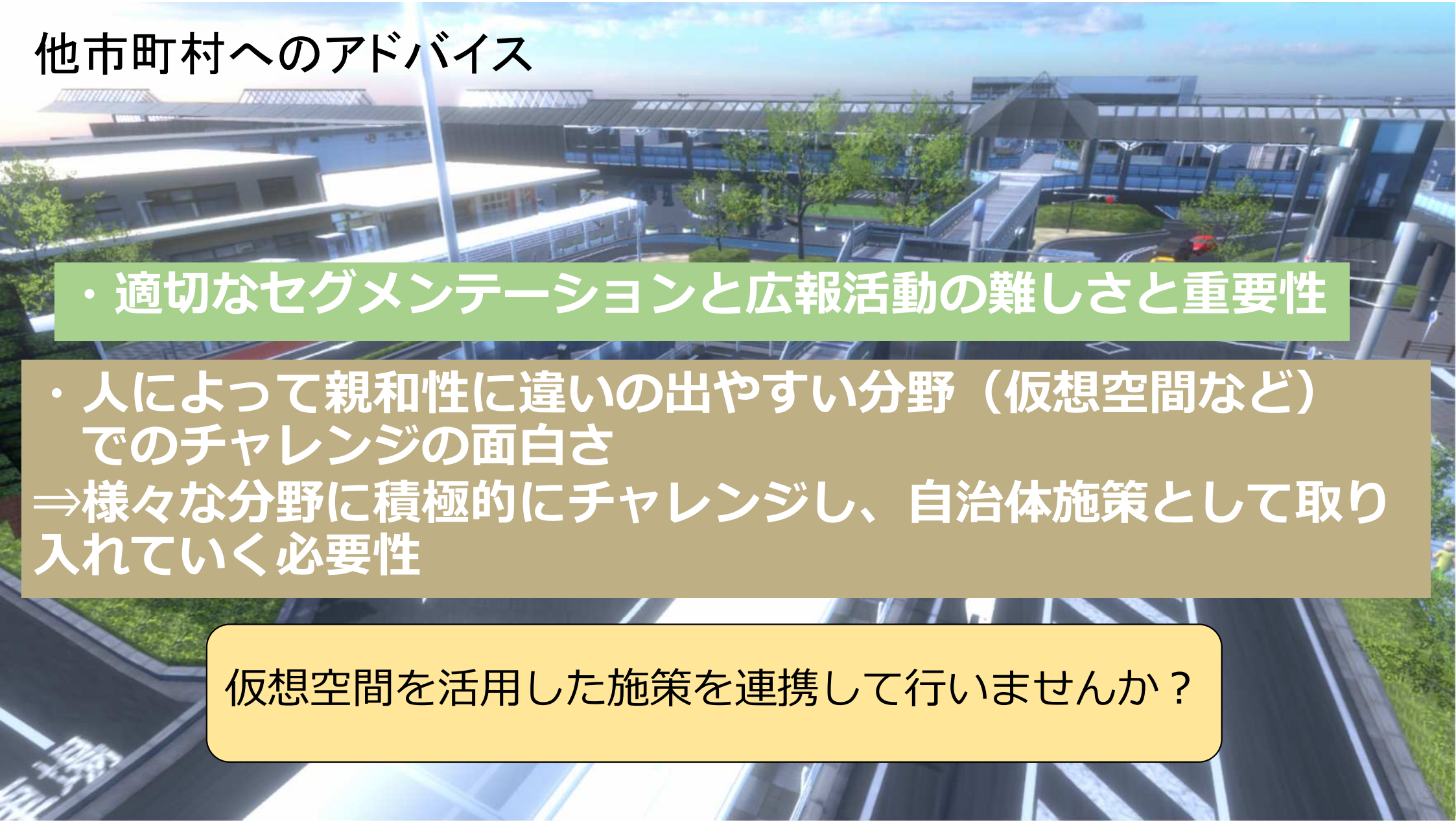
・観光やスポーツなど、他分野においても仮想空間を活用可能性を検討

ニーズ

・買い物機能などユーザーのニーズを反映したより使い勝手のいい空間の検討

上記改善点をはじめ、様々な検討を試みながら、
実際のにぎわいに変化を生むことのできる施策を引き続き検証していく

他市町村へのアドバイス



・適切なセグメンテーションと広報活動の難しさと重要性

・人によって親和性に違いの出やすい分野（仮想空間など）でのチャレンジの面白さ

⇒様々な分野に積極的にチャレンジし、自治体施策として取り入れていく必要性

仮想空間を活用した施策を連携して行いませんか？

ご清聴
ありがとう
ございました。